

不燃・準不燃材料認定番号一覧表

商品区分	システムキッチン
商品シリーズ名	全シリーズ(リビングステーションi、MKV除く)



不燃ユニット
フード隣接側側板と底板に
大臣認定品使用

フード用不燃部材
ファンボックス周りで不燃処理が
必要な場合に使用する不燃材に
大臣認定品使用

不燃エンドパネル
フード横に設置のエンドパネルに
大臣認定品使用

※この写真はシリーズの一例です。
実際とは異なる場合があります。

壁柄記号	認定の種類	認定番号	備考
不燃ユニット(下記以外)	大臣認定	NM-1348	フード隣接側側板、底板に使用
不燃ユニット(チャコール仕様)	大臣認定	NM-2016	フード隣接側側板、底板に使用
不燃ユニット(後貼り用)	大臣認定	NM-3352 NM-2773	フード隣接側側板、底板に使用
不燃エンドパネル	大臣認定	NM-2016	フード横に設置のエンドパネルに使用
フード用不燃部材 (対象シリーズ:Lクラス、リフォーム、 ラクシーナ、Vスタイル)	大臣認定	NM-2002	フードファンボックス周りで不燃処理が 必要な場合に使用

※1 商品構成により、上記に記載した建築材料の一部しか使用しない場合があります。

※2 認定書には当社管理上の記載を付しております。

※3 住宅設備・建材商品ご相談窓口(個人のお客様:0120-878-093 法人のお客様:0120-187-150)

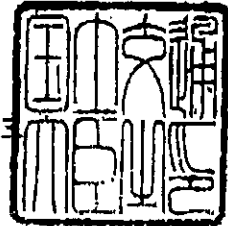


認 定 書

国住指第 3181 号
平成 19 年 3 月 30 日

株式会社大阪化粧合板製作所
代表取締役 西田 信雄 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項(同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第 2 条第 9 号及び同法施行令第 108 条の 2 第一号から第三号まで(不燃材料)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

NM-1348

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

ウレタン系樹脂塗装ウレタン系樹脂インキ普通紙張/紙裏張/両面薄葉紙張アルミニウムはく張火山性ガラス質複層板

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

ウレタン系樹脂塗装ウレタン系樹脂インキ普通紙張／紙裏張／両面薄葉紙張アルミニウムはく張火山性ガラス質複層板

2. 形状および寸法等

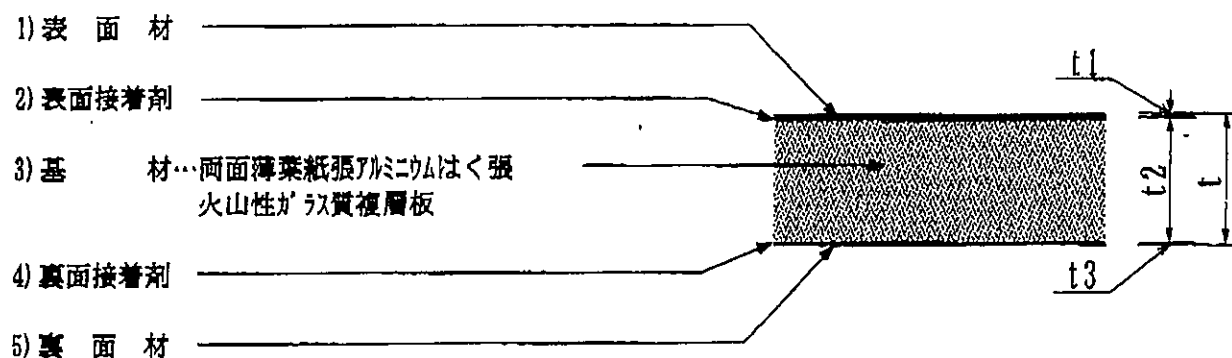
項 目	申 請 材 料
形 状	平板
表面形状	1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) 平滑 2) 凹凸 (深さ 0.1mm 以下)
厚 さ (mm)	5.2 _{-0.4} ～9.2 _{+0.5} (プレス加工による)
か さ 比 重	0.77 _{±0.08}
質 量 (kg/m ²)	4.1 _{-0.9} ～7.2 _{+1.1}

3. 材料構成

項 目	申 請 材 料
表 面 材	ウレタン系樹脂塗装ウレタン系樹脂インキ・普通紙 …厚さ 0.1mm 以下、質量 100g/m ² 以下 構成 { ウレタン系樹脂……………質量 10g/m ² (固) 以下 ウレタン系樹脂インキ・普通紙…質量 90g/m ² 以下 (印刷インキ: ウレタン系樹脂 5g/m ² (固) 以下を含む)
表面接着剤	ウレタン系樹脂 …質量 40g/m ² (固) 以下 (有機質量 20g/m ² 以下) 組成 { ウレタン系樹脂……………50～80 (質量%) { 無機質系充填材 (タリ、マイカ、顔料等) ……20～50
基 材	両面薄葉紙張アルミニウムはく張／火山性ガラス質複層板 [NM-1221] …厚さ 5.0mm～9.0mm、質量 3.9kg/m ² ～6.9 kg/m ² 、かさ比重 0.77
裏面接着剤	1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) なし (裏面材 1) の場合に限る) 2) ウレタン系樹脂 …質量 40g/m ² (固) 以下 (有機質量 20g/m ² 以下) 組成 { ウレタン系樹脂……………50～80 (質量%) { 無機質系充填材 (タリ、マイカ、顔料等) ……20～50
裏 面 材	紙: 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) なし (裏面接着剤 1) の場合に限る) 2) 普通紙…厚さ 0.09mm 以下、質量 80g/m ² 以下 3) 両面普通紙張ポリエチレン樹脂フィルム …厚さ 0.09mm 以下、質量 80g/m ² 以下 構成 { 普通紙……………質量 25g/m ² 以下 ポリエチレン樹脂フィルム…質量 30g/m ² 以下 普通紙……………質量 25g/m ² 以下

(別添-1)

4. 構造説明図 (寸法単位: mm)



$t_1 = 0.1$ 以下
 $t_2 = 5.0 \sim 9.0$ (ﾌﾟﾚｽ加工による)
 $t_3 = 0.09$ 以下, 又はなし
 $t = 5.2 \sim 9.2$ (ﾌﾟﾚｽ加工による)

5. 注意事項

本申請仕様を施工するに当たっては、所定の防火性能が損なわれないように材料端部及び目地部の処理を適切に行う必要がある。

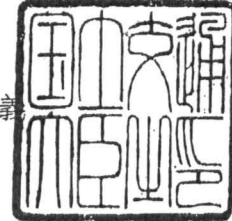


認 定 書

国 住 指 第 8 1 0 号
平成 20 年 10 月 9 日

富士高分子株式会社
取締役社長 田代 加平 様

国土交通大臣 金子 一義



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令第 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-2016
2. 認定をした構造方法等の名称
ジアリルフタレート系樹脂含浸印刷チタン紙・薄葉紙張アルミニウムはく張／紙裏張／火山性ガラス質複層板
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

項 目	申 請 材 料
表 面 材 (つづき)	<p>2) ジアリルフタレート系樹脂含浸印刷チタン紙・薄葉紙張アルミニウムはく …厚さ0.2mm以下、質量387g/m²以下 (有機質量325g/m²以下)</p> <p>構成 { (1) ジアリルフタレート系樹脂含浸印刷チタン紙 …厚さ0.1mm以下、質量205g/m²以下 (有機質量175g/m²以下) 印刷チタン紙…質量105g/m²以下 (有機質量75g/m²以下) 印刷インキ(ウレタン系樹脂、ブチラール系樹脂、セルロース系樹脂等) 5g/m² (固) 以下を含む ジアリルフタレート系樹脂…質量100g/m² (固) 以下</p> <p>(2) ①, ②のうち、いずれか一仕様とする ①ウレタン系樹脂…質量30g/m² (固) 以下 ②なし</p> <p>構成 { (3) 薄葉紙張アルミニウムはく …厚さ0.1mm以下、質量112g/m²以下 (有機質量80g/m²以下) 〔0.5mm以下で深さ0.5mm以下 [基材部分を含む] の穴を 2500個/m²以下あけたもの〕 薄葉紙…質量30g/m²以下 ウレタン系樹脂…質量10g/m² (固) 以下 アルミニウムはく…厚さ0.012mm、質量32g/m² ウレタン系樹脂…質量10g/m² (固) 以下 薄葉紙…質量30g/m²以下 (4) ウレタン系樹脂…質量40g/m² (固) 以下</p> <p>3) ジアリルフタレート系樹脂含浸印刷チタン紙・薄葉紙張アルミニウムはく …厚さ0.2mm以下、質量347g/m²以下 (有機質量285g/m²以下)</p> <p>構成 { (1) ジアリルフタレート系樹脂含浸印刷チタン紙 …厚さ0.1mm以下、質量205g/m²以下 (有機質量175g/m²以下) 印刷チタン紙…質量105g/m²以下 (有機質量75g/m²以下) 印刷インキ(ウレタン系樹脂、ブチラール系樹脂、セルロース系樹脂等) 5g/m² (固) 以下を含む ジアリルフタレート系樹脂…質量100g/m² (固) 以下</p> <p>(2) ①, ②のうち、いずれか一仕様とする ①ウレタン系樹脂…質量30g/m² (固) 以下 ②なし</p> <p>構成 { (3) 薄葉紙張アルミニウムはく …厚さ0.1mm以下、質量72g/m²以下 (有機質量40g/m²以下) 〔0.5mm以下で深さ0.5mm以下 [基材部分を含む] の穴を 2500個/m²以下あけたもの〕 薄葉紙…質量30g/m²以下 ウレタン系樹脂…質量10g/m² (固) 以下 アルミニウムはく…厚さ0.012mm、質量32g/m² (4) ウレタン系樹脂…質量40g/m² (固) 以下</p>
表面処理剤 (シーラー)	<p>1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ウレタン系樹脂…質量10g/m² (固) 以下 2) なし</p>

(別添)

1. 材料名

ジアリルフタレート系樹脂含浸印刷チタン紙・薄葉紙張アルミニウムはく張／紙裏張／火山性ガラス質複層板

2. 形状及び寸法等

項 目	申 請 材 料
形 状	平板
表 面 形 状	1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1) 平滑 2) エンボス (深さ0.1mm以下)
厚 さ (mm)	6.3 _{-0.6} ～9.3 _{+0.5} (プレス加工による)
か さ 比 重	0.82 _{±0.08}
質 量 (kg/m ²)	5.2 _{-0.6} ～7.5 ₊₀

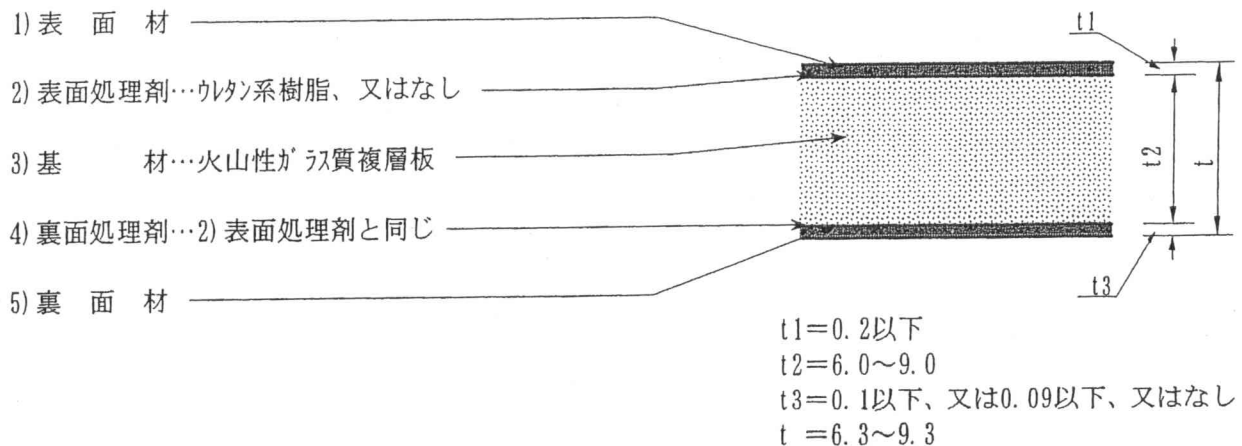
3. 材料構成

項 目	申 請 材 料
表 面 材	<p>1)～3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) ジアリルフタレート系樹脂含浸印刷チタン紙・薄葉紙張アルミニウムはく …厚さ0.2mm以下、質量397g/m²以下 (有機質量335g/m²以下)</p> <p>構成 { (1) ジアリルフタレート系樹脂含浸印刷チタン紙 …厚さ0.1mm以下、質量205g/m²以下 (有機質量175g/m²以下) 印刷チタン紙…質量105g/m²以下 (有機質量75g/m²以下) [印刷インキ(ウレタン系樹脂、プチラル系樹脂、 セルロース系樹脂等) 5g/m² (固) 以下を含む] ジアリルフタレート系樹脂…質量100g/m² (固) 以下</p> <p>(2) ジアリルフタレート系樹脂含浸両面薄葉紙張アルミニウムはく …厚さ0.1mm以下、質量192g/m²以下 (有機質量160g/m²以下) [0.5mm以下で深さ0.5mm以下 [基材部分を含む] の穴を 2500個/m²以下あけたもの 薄葉紙…質量30g/m²以下 ウレタン系樹脂…質量10g/m² (固) 以下 アルミニウムはく…厚さ0.012mm、質量32g/m² ウレタン系樹脂…質量10g/m² (固) 以下 薄葉紙…質量30g/m²以下 ジアリルフタレート系樹脂…質量80g/m² (固) 以下</p>

(別添-1)

項 目	申 請 材 料
基 材	火山性ガラス質複層板 …厚さ6.0mm～9.0mm、質量4.55kg/m ² ～6.8kg/m ² 、かさ比重0.76 構成 <ul style="list-style-type: none"> 1) 上層：厚さ1.25mm～1.9mm、質量1.4kg/m²～2.1kg/m²、かさ比重1.1 <ul style="list-style-type: none"> 組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> 人造鉱物繊維保温材(ロックウール、グラスウール) ……50 無機質系充てん材 <ul style="list-style-type: none"> (水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、炭酸カルシウム、ほう砂) ……34 無機質系粉体 <ul style="list-style-type: none"> (炭酸カルシウム、マイクロシリカ、スラグ粉等) ……10 有機質系結合剤 <ul style="list-style-type: none"> (でん粉、フェノール樹脂、ポリビニルアルコール) ……6 ワックス系サイズ剤 ……0.1 (外割) 2) 中層：厚さ3.5mm～5.2mm、質量1.75kg/m²～2.6kg/m²、かさ比重0.5 <ul style="list-style-type: none"> 組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> 火山性ガラス質堆積物粉体(シラス、白土、軽石等) ……50 無機質系充てん材 <ul style="list-style-type: none"> (水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、炭酸カルシウム、ほう砂) ……34 無機質系粉体 <ul style="list-style-type: none"> (炭酸カルシウム、マイクロシリカ、スラグ粉等) ……10 有機質系結合剤 <ul style="list-style-type: none"> (でん粉、フェノール樹脂、ポリビニルアルコール) ……6 ワックス系サイズ剤 ……0.1 (外割) 3) 下層：厚さ1.25mm～1.9mm、質量1.4kg/m²～2.1kg/m²、かさ比重1.1 組成は1) 上層と同じ
裏面処理剤 (シーラー)	表面処理剤と同じ
裏 面 材	1) ～3) のうち、いずれか一仕様とする 1) ジアリルフタレート系樹脂含浸チタン紙 …厚さ0.1mm以下、質量220g/m ² 以下 (有機質量190g/m ² 以下) 構成 <ul style="list-style-type: none"> チタン紙…質量100g/m²以下 (有機質量70g/m²以下) ジアリルフタレート系樹脂…質量120g/m² (固) 以下 2) 普通紙 …厚さ0.09mm以下、質量130g/m ² 以下 構成 <ul style="list-style-type: none"> 普通紙…質量80g/m²以下 先付け接着剤：ウレタン系樹脂…質量50g/m² (固) 以下 3) なし

4. 構造説明図 (寸法単位：mm)



5. 注意事項

本申請仕様を施工するに当たっては、所定の防火性能が損なわれないように材料端部及び目地部の処理を適切に行う必要がある。

認 定 書

国住指第 3167 号
平成 24 年 2 月 9 日

寿工業株式会社
代表取締役社長 青柳 潤 様

国土交通大臣 前田 武志



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

NM-3352

2. 認定をした構造方法等の名称

合成樹脂塗装／基材（不燃材料（金属板及びせっこうボードを除く））

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

合成樹脂塗装／基材（不燃材料（金属板及びせっこうボードを除く））

2. 申請仕様の形状・寸法等

申請仕様の形状・寸法等を表1に示す。

表1 申請仕様の形状・寸法等

項 目	申 請 仕 様
形状	平板
表面の形状	平滑
厚さ	0.201 (−0.020) mm、0.215 (−0.022) mm、0.221 (−0.022) mmまたは 0.235 (−0.024) mm (基材を除く)
質量	201.4 (−20.1) ~ 280.0g/m ² (基材を除く)

3. 申請仕様の材料構成

申請仕様の材料構成を表2に示す。

表2 申請仕様の材料構成

項 目	申 請 仕 様
合成樹脂塗料	<p>厚さ0.201 (−0.021) mm、質量201.4 (−20.1) g/m² (固形量) 厚さ0.215 (−0.022) mm、質量215.0 (−21.5) g/m² (固形量) 厚さ0.221 (−0.023) mm、質量221.4 (−22.1) g/m² (固形量) または厚さ0.235 (−0.024) mm、質量235.0 (−23.5) g/m² (固形量) 最大有機質量127.0g/m²</p> <p>上塗り (アクリル樹脂系) : 厚さ0.020 (−0.002) mm、質量20.0 (−2.0) g/m² (固形量) または塗料なし、最大有機質量19.0g/m² 〔アクリル系樹脂：質量19.0g/m²以下 無機質系混和剤 (シリカ等) : 質量1.0 (−0.1) g/m²以上</p> <p>中塗り (アクリル樹脂系) : 以下の(1)または(2)のいずれかの仕様とする。 (1) 厚さ0.050 (−0.005) mm、質量50.0 (−5.0) g/m² (固形量) 最大有機質量20.5g/m² 〔アクリル系樹脂：質量20.5g/m²以下 無機質系添加剤 (顔料 (チタン等)、充てん材 (タルク等)) : 質量29.5 (−2.95) g/m²以上</p> <p>(2) 厚さ0.036 (−0.004) mm、質量36.4 (−3.64) g/m² (固形量) 最大有機質量20.0g/m² 〔アクリル系樹脂：質量20.0g/m²以下 無機質系添加剤 (顔料 (チタン等)、充てん材 (タルク等)) : 質量16.4 (−1.64) g/m²以上</p> <p>下塗り (エポキシ樹脂系) : 厚さ0.165 (−0.017) mm 質量165.0 (−16.5) g/m² (固形量)、最大有機質量87.5g/m² 〔エポキシ系樹脂：質量87.5g/m²以下 無機質系充てん材 (クレー、タルク等) : 質量77.5 (−7.75) g/m²以上</p>

つづく

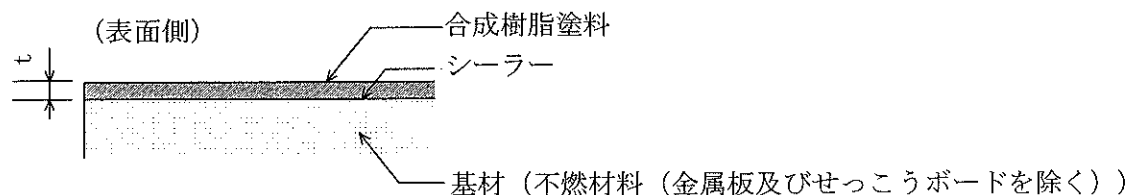
つづき

シーラー	<p>以下の(1)または(2)のいずれかの仕様とする。</p> <p>(1) ウレタン樹脂系シーラー： 質量45.0g/m^2（固形量）以下 最大有機質量45.0g/m^2 ウレタン系樹脂 100質量%</p> <p>(2) けい酸ナトリウム系シーラー： 質量16.0g/m^2（固形量）以下 有機質量0g/m^2 無機質（けい酸ナトリウム、シリカ、亜硝酸リチウム等） 100質量%</p>
基材	<p>不燃材料（金属板及びせっこうボードを除く）：平成12年建設省告示第1400号に例示された不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及びせっこうボード、鉄鋼、アルミニウム、金属板を除くもの。ただし厚さは6mm以上とする。</p>

4. 申請仕様の断面図

申請仕様の断面図を図1に示す。

単位mm



t = 0.201、0.215、0.221または0.235

図1 断面図

COPY

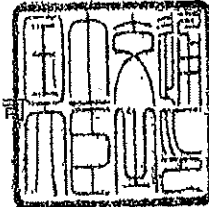


認定書

国住指第87号
平成22年6月2日

株式会社エーアンドエーマテリアル
代表取締役社長 重富 光人 様

国土交通大臣 前原 誠司



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第9号及び同法施行令第108条の2第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-2773
2. 認定をした構造方法等の名称
パルプ混入／けい酸カルシウム板
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

パルプ混入／けい酸カルシウム板

2. 申請仕様の形状・寸法等

申請仕様の形状・寸法等を表1に示す。

表1 申請仕様の形状・寸法等

項 目	申 請 仕 様
形状	平板
表面の形状	平滑または粗面
厚さ	4.0 (−0.4) ~ 20.0 (+2.0) mm
質量	3.2 (−0.3) ~ 16.0 (+1.6) kg/m ² (絶乾時)
含水率	15.0%以下

3. 申請仕様の材料構成

申請仕様の材料構成を表2に示す。

表2 申請仕様の材料構成

項 目	申 請 仕 様
パルプ混入／けい酸カルシウム板	<p>厚さ4.0 (−0.4) ~ 20.0 (+2.0) mm</p> <p>質量3.2 (−0.3) ~ 16.0 (+1.6) kg/m² (絶乾時)</p> <p>密度0.8 (±0.1) g/cm³ (絶乾時)</p> <p>石灰質原料 (石灰等) 10.0 (−1.0) ~ 20.0 (+2.0) 質量%</p> <p>けい酸質原料 (けい石等) 16.0 (−1.6) ~ 28.0 (+3.0) 質量%</p> <p>無機質系混和材 (炭酸カルシウム、再生材粉、無機質系繊維 (ワラストナイト) 等)</p> <p>44.0 (−4.0) ~ 69.0 (+7.0) 質量%</p> <p>有機質系繊維 (パルプ) 5.0 (−0) ~ 8.0 (+0.8) 質量%</p>

4. 申請仕様の断面図

申請仕様の断面図を図1に示す。

単位:mm

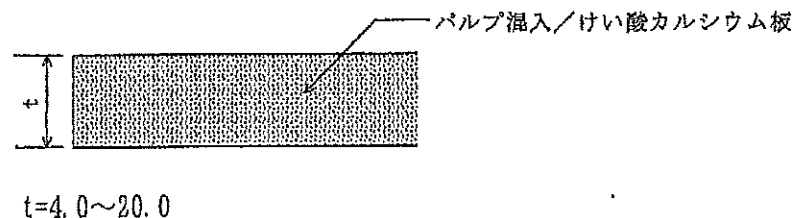


図1 断面図



認 定 書

国 住 指 第 582 号

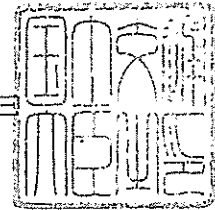
平成 20 年 7 月 11 日

日本グラスファイバー工業株式会社

代表取締役 奥田 晏弘 様

国土交通大臣

冬柴 鐵三



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令第 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

NM-2002

2. 認定をした構造方法等の名称

両面ポリエステル繊維不織布張／ガラス繊維フェルト

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存してください。

(別添)

1. 材料名
両面ポリエステル繊維不織布張／ガラス繊維フェルト

2. 形状及び寸法等

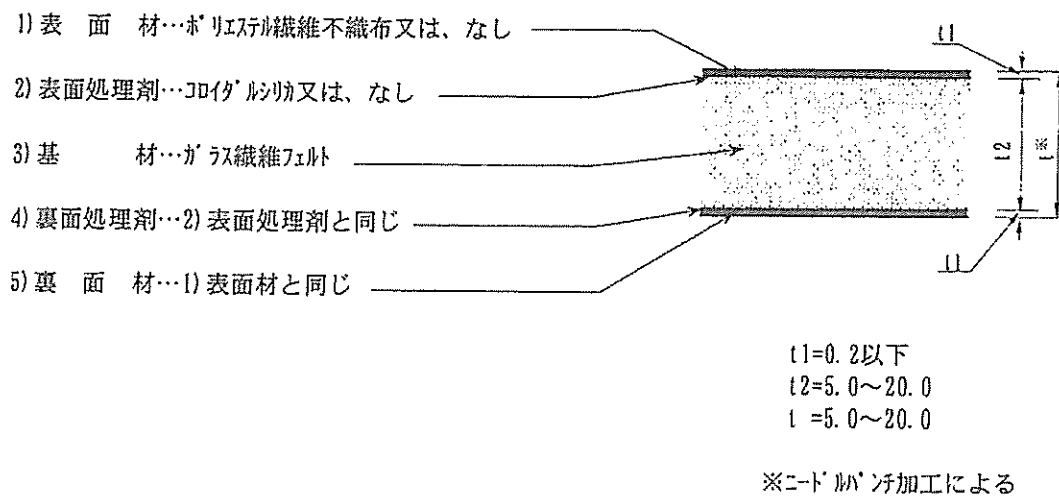
項 目	申 請 材 料
形 状	平板
表 面 形 状	粗面
厚 さ (mm)	5.0 _{-0.5} ～20.0 ₊₂ (ニードルパンチ加工による)
か さ 比 重	0.10 _{-0.01} ～0.15 _{+0.03}
質 量 (kg/m ²)	0.5 _{-0.05} ～3.0 _{+0.3}

3. 材料構成

項 目	申 請 材 料
表 面 材	1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ポリエステル繊維不織布 (表面処理剤がなしの場合に限る) …厚さ0.2mm以下、質量31g/m ² 以下 2) なし
表面処理剤	1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1) コロイダルシリカ (表面材がなしの場合に限る) …質量15g/m ² (固) 2) なし
基 材	ガラス繊維フェルト …厚さ5.0mm～20.0mm、質量0.5kg/m ² ～3.0kg/m ² 、かさ比重0.10～0.15 構成 { 1) ガラス繊維 …質量0.46kg/m ² ～2.96kg/m ² 繊維径9μm、繊維長25mm～125mm 2) セルロース系樹脂 (バインダー) …質量0.04kg/m ² (固) 以下
裏面処理剤	1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1) コロイダルシリカ (裏面材がなしの場合に限る) …質量15g/m ² (固) 2) なし
裏 面 材	1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ポリエステル繊維不織布 (裏面処理剤がなしの場合に限る) …厚さ0.2mm以下、質量31g/m ² 以下 2) なし

(別添-1)

4. 構造説明図（寸法単位：mm）



5. 注意事項

本申請仕様を施工するに当たっては、所定の防火性能が損なわれないように材料端部及び目地部の処理を適切に行う必要がある。